第６５回岡山県美容技術コンクール
競　技　要　綱

【カット&ブロー競技の部】(モデルウィッグ使用)

☆　日　　時　　**令和７年６月１６日（月）**

選手受付　８：１０～９：００

※時間厳守（遅れると受付ができない場合があります）

☆　会　　場　　岡山市中区門田本町４丁目１番１６号

岡　山　国　際　ホ　テ　ル

☆　**全競技に関する注意事項**

①出場者は受付を済ませ必ず９時までに選手控室にて待機すること。
②出場取消しについては、特別な事情がない限り、１週間前までに　組合事務所（℡086-222-3221）に連絡のこと。
③エントリー料は如何なる理由があろうとも返金できません。
④参加賞（T シャツ）及び、お弁当はありません。
⑤各種目、エントリー者数が３名未満の場合、競技種目の除外等の規定を設けています。
⑥各種目、エントリー者数が６名未満の場合、優勝賞金の授与はありません。トロフィー及び賞状のみの授与となります。
⑦業務の都合上、電話でのお問い合わせ、質問等はお受けできません。ご質問等は、FAX 及び、下記アドレスの E メールでお問い合わせ下さい。

＜お問い合わせ＞　FAX：086-223-7455
Email：info@ba-okayama.or.jp

☆　**全競技に関する禁止事項**

①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒または濃紺のスカートまたはスラックスとし、帽子は禁止する。靴はヒールの低いものとする。
②選手は、ガムを噛んだり、口の中に物を入れて出場してはならない。
③**選手・モデルは控室以外で飲食してはならない**。
④競技中、選手同士またはモデル・観客と会話等をしてはならない。
⑤競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
⑥競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
⑦控室は、受付終了後から閉会式終了後まで、監視員以外出入りは禁止です。
⑧館内禁煙です。喫煙所以外での喫煙はしないでください。
⑨ゴミの持ち帰り、後片付けなど社会人としてのマナーをお守りください。

(1) 出場資格　有資格者

(2) 競技時間 ‥‥‥　４０分

(3) 競技内容　～ モードスタイル ～

モードスタイルを制作するものである。ヘアスタイル制作にあたっては、作品に独自の創造性、ファッション性が表現されるものとする。
※本競技はモデルウィッグを使用して行う。

(4) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

①競技は各自のモデルウィッグ(自由)を使用して行う。
②モデルウィッグの髪は、競技ステージで競技開始前に完全に濡らし、オールバックにシェープして、髪が濡れた状態からカットに入らなければならない。
③万力は、競技中机に固定しておかなければならない。（万力は選手が持参し、目印等をつけてはならない。）
④万力に挟むタオルは、選手が持参しなければならない。
⑤競技終了後、作品にピンを残してはならない。
⑥競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
⑦競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
⑧審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
⑨事前カットは一切認めない。
⑩“ネオン”カラー（蛍光をともなった色）を除き、カラーの選定は自由である。
⑪カラースプレーは禁止する。（ラメ入りも禁止する。）
⑫モデルウィッグへのパーマ、メイクは自由とする。ただし、タトゥー（絵）等は禁止する。
⑬ヘアピース、ウィッグ、ヘアアクセサリーは禁止する。
⑭イヤリング、ピアス類は使用可能であるが、競技時間内（４０分）につけなければならない。（イヤリングはヘムラインより上がってはならず、ウィッグの台座より下がってはならない。）
⑮モデルウィッグに洋服は取り付けてはならない。（首にスカーフを巻くことも禁止する。）
⑯ウィッグへの印、ピン打ち等は禁止する。ただし、イヤリングを留めるためのピンは可とする。
⑰整髪料は自由とする。
⑱競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、シザーケース（施術中に腰やベルトに下げて、はさみ等用具を収納する革製等のケース）は禁止する。
⑲電源は1人１．２kwまでとし、コンセントは１口用である。（２口用コンセントは禁止する。）
⑳控室で電源の設備はない。

(5) 留意事項

①モデルウィッグ（自由）・万力・タオルは各自持参のこと。
②ドライヤーのコンセントは１口用で1.2kwまでとする。(延長コードを持参のこと)
③競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
④事前カットの有無、競技中の違反行為のチェックを監視委員によって行う。
⑤諸道具の収納器を持参のこと。シザーケース（施術中に腰やベルトに下げて、はさみ等用具を収納する革製等のケース）は禁止する。

(6) 審　　査　技術性・独創性・ファッション性などを勘案した総合審査とする。